

科目名称：信州大学農学部公開森林実習「**自然の成り立ちと山の生業演習**」

2単位，標準履修年次：2年生以上

担当教員：小林 元，荒瀬輝夫，室谷楓香

実施時期：令和8年9月1日（火）～9月4日（金）

集合時刻：令和8年9月1日（火） 13：00

定 員：10名程度，応募者多数の場合は選考

対象学生：全国の大学生，2年生以上

集合場所：信州大学農学部食と緑の科学資料館「ゆりの木」

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

問合せ先：信州大学農学部総務グループ

TEL：0265-77-1318 FAX：0265-72-5259

Email：afc_infor@shinshu-u.ac.jp

実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC)

西駒ステーション・構内ステーション・手良沢山ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>



実習課題：「**中部山岳域における自然の成り立ちと山の生業**」

本演習では，西駒ステーション，手良沢山ステーション，構内ステーションを舞台として，天然林の成り立ちから人工林の造成，利用までを学びます。西駒ステーションでは標高2,000mのシラベ小屋までの本格登山を行います。受講者は3時間程度の急な登りの登山に耐えられる体力が要求されます。手良沢山ステーションでは，森林調査と鋸を使った間伐と枝打ちを体験します。構内ステーションでは林地残材を利用した丸太切りと薪割り，ウッドチップの作成を行います。丸太切りはチェーンソーを使って行います。

実習が掲げる SDGs の目標：

自然の成り立ちと山の生業演習では，西駒ステーションでの登山，手良沢山，および構内ステーションでの森林作業を通じて健康的な生活を確保することの重要性を実感し，SDGsの**目標3【保健】**について自らの体験をもとに考える機会を与えます。西駒ステーションでは薪炭林の観察，構内ステーションでは薪割りの体験を通じて安価かつ信頼できる持続可能なエネルギーの供給について考えることで，SDGsの**目標7【エネルギー】**の達成に取り組む意識を育てます。また，手良沢山ステーションでの人工林の育成体験を通じて，林業経営とそこで森林育成にかかわる人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある雇用について体験し，SDGsの**目標8【経済成長と雇用】**を自己の問題としても考えることを促します。また，人工林の間伐を通じて，気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を体験します。西駒ステーションでは管理が放棄された高標高里山林の陸域生態系としての保護，回復，持続可能な利用の推進について考えます。SDGsの視点から中部山岳域における自然の成り立ちと山の生業について学ぶことで，SDGsの**目標13【気候変動】**，**目標15【陸上資源】**の達成に向けてどのような取り組みができるか考察します。

実習計画：

9/1(火) 【自然の成り立ち編 1】

ゆりの木資料館にて受付，ガイダンス，演習林の紹介
地域研究，森と人との関わりに関する講義

9/2(水) 【自然の成り立ち編 2】

西駒演習林にて亜高山帯の森林観察（ヒノキ小屋～水無し坂～望学台～シラベ小屋（昼食）～信大分岐～大樽小屋～桂小場。標高2,200mまで），亜高山帯の動植物に関する講義

9/3(木) 【山の生業編 1】

手良沢山演習林にて人工林の育成に関する講義，および森林作業の安全教育，林業実習体験（丸太切り，薪割り），人工林の調査に関する講義，人工林の調査

9/4(金) 【山の生業編 2】

農学部講義棟にて人工林調査のデータ解析，データ解析の成果発表

レポート・アンケート作成，修了式（ゆりの木研修室）

※天候等により，実習の場所・内容が変更になる可能性があります。

※台風，地震等のやむを得ない事情によって，実習中止もしくは日程変更になる可能性があります。

※西駒ステーションでの実習は登山ウェア，もしくは作業着を着用して，上下の雨具，トレッキングシューズ，ヘッドライトを用意してください。

※手良沢山，構内ステーションでの服装は作業着とし，軍手，手ぬぐい，帽子を忘れずに着用してください。ノートパソコンをご持参ください。

参加費用：食費，宿泊費として8,000円

※初日のガイダンス前に徴収します。なお，集合場所までの旅費は自己負担になります。

宿 泊：初日，西駒ステーション学生宿舎，2～3日目，手良沢山ステーション学生宿舎

提出書類：自大学の学務(教務)担当者との相談の上，下記の書類を提出してください。

下記，IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。

※受入身分について等，不明な点がある場合は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務（教務）係等へ提出してください。

①依頼書（履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ）

②履修願（履修希望学生から信州大学農学部長へ）

③申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）

④受講志望理由書（別紙）

⑤学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

⑥成績証明書

※書類は所属大学・学部の学務（教務）係等へお問い合わせください。

※学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険に代わる保険に加入している場合は，加入保険が上記の保険と同程度の補償内容であることをご確認いただいたうえで加入保険の加入証明書類をご提出ください。

II. 特別聴講学生とならない場合

以下3点の書類（①②は，下記URLよりダウンロード）を希望学生自身が送付先まで提出してください。ただし指導教員，クラス担任等の押印が必要です。

①申込書

②受講志望理由書

③学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

※所属大学によっては，正課ではない授業には保険が適用されない場合がありますのでご確認ください。

※学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険に代わる保険に加入している場合は，加入保険が上記の保険と同程度の補償内容であることをご確認いただいたうえで加入保険の加入証明書類をご提出ください。

申込方法：下記に従って申し込んでください。

特別聴講学生となる場合
上記Ⅰの①～⑥の書類を用意してください。

特別聴講学生とならない場合
上記Ⅱの①～③の書類を用意してください。

下記申請フォームより、希望する実習を登録してください。

6点の書類を所属大学・学部の学務（教務）係等へ提出してください。

3点の書類を受講する学生自身が送付先まで郵送で提出してください。

※申請フォームおよび様式ダウンロードURL：

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/news/>
（令和8年度「公開森林実習」受講生募集のお知らせ内のリンクをクリック）



書類送付・お問い合わせ先：

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部総務グループ
Tel：0265-77-1318 Fax：0265-72-5259 Email：afc_infor@shinshu-u.ac.jp
※送付の際には、封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切：Ⅰ，Ⅱとも令和8年7月3日(金) 信州大学農学部必着

受講許可：書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項：

I. 特別聴講学生となる場合

修了者には信州大学農学部から所属大学・学部の学務(教務)あてに単位修得証明書を発行します。

II. 特別聴講学生とならない場合

修了者には「修了証」を発行します。その書類を持って自大学で単位の認定を希望する学生は事前に自大学学務担当係等で確認してください。

受講にあたっての注意事項：

◎風邪の症状、発熱、倦怠感など体調に異変を感じた場合は、無理をせずキャンセルしてください。

※キャンセル連絡先：信州大学農学部総務グループ TEL：0265-77-1318
（実習前日（土日を含まない）13時まで）

◎受講前に必ず安全の手引きをご確認ください。

安全の手引き（令和6年度3月版）は下記 URL および右の QR コードからご覧いただけます。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/application.php>



その他特記事項：

◎食事

- 1 日目の昼食は各自で済ませてきてください。2 日の昼食は各自で用意してください。
3 日目の昼食はお弁当を用意いたします。4 日目の昼食は農学部生協食堂をご利用ください。
2 日目～4 日目の朝食，1 日目～3 日目の夕食はこちらで準備した食材を用いて自炊します。

◎欠席について

- ・欠席する場合は，1 週間前までに農学部総務グループまで申し出てください。
- ・直前にやむなく欠席・遅刻する場合は，各回演習の前日（土日を含まない）13：00 までに信州大学農学部総務グループに連絡してください。

キャンセルポリシー：

- 実習前日および実習期間中のキャンセルについては参加費用全額を支払っていただきます。
なお，台風，地震等のやむを得ない事情によって実習中止になった場合はその限りではありません。

注1：西駒ステーションは高標高のため朝夕は冷え込むので，防寒着等が必要です。

男性用洗濯室・乾燥室，女性用洗濯室・乾燥室（洗剤，ハンガーはありますが，柔軟剤等はありません）が利用できます。

宿泊施設に石鹸，シャンプー，タオル等のアメニティ用品はありません。また施設内に自動販売機はありません。アメニティ用品，常備薬等は各自ご用意ください。

宿泊施設の設備については下記をご覧ください。

構内ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/campus.php>

西駒ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nishikoma.php>

手良沢山ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/terasawayama.php>